

宮医発第 680 号  
令和 3 年 7 月 12 日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 殿

公益社団法人 宮 城 県 医 師 会  
会 長 佐 藤 和 宏  
宮城県新型コロナウイルス感染症医療調整本部長  
東北大学病院 病院長 富 永 悌 二  
一般社団法人 仙 台 市 医 師 会  
会 長 安 藤 健 二 郎  
(公 印 省 略)

宮城スタジアムにおける東京五輪サッカー試合の無観客試合実施のお願い

平素は、新型コロナウイルス感染症に対して適切な対応をお取り頂き、誠にありがとうございます。宮城県は 3 月に第 4 波を迎え、蔓延防止等重点措置が発令されましたが、お陰様で以後は比較的穏やかな経過となっております。重点措置が解除された後も、リバウンド防止策を種々講じられ、その期間も 8 月末までに延長されたばかりであり、慎重な対応を取って頂いているところです。

またワクチン接種に関しても、大規模接種会場の設置と運営を、東北大学病院など関連団体と共同で進めており、私たち医療関係者も一日でも早く県民の皆様方へ接種を行うべく日々努力しております。

こうした中で、7 月 21 日から 31 日まで、計 6 日間、上記試合が利府のスタジアムで行われることが決定しています。計 10 試合行われますが、現在のところは観客を入れての開催となっております。国内からの観客とは言え、人流が増加することは自明の理であり、私たち医療人は極めて心配しております。これは他の大規模イベントでも同じであります。

首都東京には、緊急事態宣言が出され、感染力の強い変異株（いわゆるインド型）の割合が増加して、現在 34% となっております。早晩 100% となる予想が出ています。宮城県でも、実効再生産数（令和 3 年 7 月 9 日時点）が 1.65 と増えており、感染者数は第 4 波の 2 月末から 3 月初めと酷似しており、第 5 波の予兆を感じさせます。

このように、感染者数増加が懸念されている時に、県外から多くの人々が来県するこ

とには、大きな危惧を抱かざるを得ません。今まで、県当局とは、対策本部会議、共同記者会見、主要病院長会議などを通じて共同してコロナ禍と闘ってきた実績があり、今回も無観客試合に、ご理解を頂きたくお願いする次第です。

このサッカー試合に、大きな夢と喜びを持って観戦を楽しみにしている方々がいること、関連する観光産業者などの期待感は十分理解します。有観客試合実施県が、3 県のみとなっている現在、村井知事様にとっても極めて難しい決断だとお察し致します。しかし、多くの県民は、無観客試合を望んでいると思われ、知事のご英断を待っていると思います。

結びに、今回は知事にご決断をお願い致しましたが、私たち医療者は、宮城県民の健康を守るという観点から、今後共県政には協力をしていく所存です。よろしくご理解の程お願い申し上げます。

担当：宮城県医師会事務局 総務課

TEL：022-227-1591

FAX：022-266-1480